

2026年6月19日

## 今般の日本関係船舶のホルムズ海峡出域について

一般社団法人 日本船主協会  
会長 長澤 仁志

今般、新たに、日本関係船舶1隻が船員・積荷とともに無事通峡し、原油を日本に輸送できる運びとなりました。

日本政府のご尽力の賜物であり、重ねて厚く御礼申し上げます。

ペルシャ湾内には依然として日本関係船舶37隻・約850人の船員が留め置かれております。

船員・船舶の速やかな脱出と、エネルギーをはじめとする重要物資の海上輸送の再開のためには、「機雷の速やかな除去」と、「通航料が課されることのない、自由で安全なホルムズ海峡の復元」が必要不可欠です。

関係の皆様を引き続いてのご支援を切にお願い申し上げます。

以上